

平成 30 年度 第 2 回学校運営協議会 議事録

【日 時】 平成 30 年 9 月 14 日（金）10：00～11：00

【場 所】 逗葉高等学校 会議室

【出席者】 校長、佐々木、関、穂積、伊藤、森谷（敬称略）、副校長、教頭、事務長

【議 事】

1 校長挨拶

実際の高校生の活動の様子を見ていただきたくて、今回の協議会を文化祭の日に設定した。本日は一般公開日ではないが、協議会終了後に時間があればぜひご覧いただきたい。今年度は学校のことをよく知っていただき、できることからやっていきたいので「このような教育資源があるよ」等、積極的にご意見をいただきたい。また、「逗葉高校の教育活動MAP」には文化祭のねらいを掲載した。

2 出席者自己紹介と意見等

3 これまでの活動及び今後の予定を確認

別紙参照、生徒による授業評価を実施。「平成 30 年度神奈川県立逗葉高等学校不祥事ゼロプログラム」について一部改訂した。

4 各委員より

- ・文化祭のねらいにある自主性、社会性、創造性の育成のうち、我々が最も協力できるのは社会性だと思うが、学校側のねらう「社会性」とはどのようなものかお尋ねしたい。
- ・資料にある芋掘り体験以外にも、3年生の「子どもの発達と保育」の授業、交通安全に関する高校生の劇、吹奏楽部のクリスマス会演奏等、これまでもいろいろと交流してきた。万が一の災害の時には高校生に助けてもらいたいし、逆にできることは是非協力させてもらいたい。
- ・この3カ月の間にも大きな災害があった。若い人には防災に関心をもってほしいので、災害に対する今の高校生の考えを是非知りたい。
- ・災害訓練には、クロスゲーム等の演習的なゲームを紹介することもできる。
- ・資料にあるとおり、英語教育の交流を検討している。これまでも沼間小と沼間中では交流してきたが小中高での交流を進めていき、教員同士も顔見知りとなるよう交流できる場を設けたい。
- ・災害が起きた時の地域に対する逗葉高校の体制はどうなっているのか。2020 オリンピックに向けて話題にもなっているが、ボランティア活動はどうなっているのか。
- ・地域のコミュニティーでも SNS は活用しているので、不祥事防止対策だけでなくプラスの効果も含めて教育委員会に考えてもらいたい。

5 今後について

- ・部会については委員から推薦された方と今後進めていく。
- ・学校ホームページに本日の議事録や部会報告を掲載する。